

研究テーマ：玉村町の郷土芸能について

行って・見て・考えよう
「祭りの大切さ」

右の写真は白熱する上下新田祇園祭「ぶっこみ」。
左は玉村町歴史資料館（文化センター内）にて、お祭りや町並み模型などの説明を受ける委員。



近年の実施状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度（予定）
祇園祭（角刈）	中止（太鼓練習は実施）	開催	7/6、7/7
水神祭（五料）	関係者のみ開催	関係者のみ開催	7/21（巡回無）
地藏祭（箱石）	中止（お参り、神事のみ実施）	中止（お参り、神事のみ実施）	7/21（神事）2/
悪魔払い（飯塚）	中止（神事のみ実施）	開催	7/24（神事）9/29（巡回）
悪魔祓い（藤川）	中止（神事のみ実施）	中止（神事のみ実施）	7/24（神事）
祇園祭（上新田四丁目、下新田五～七丁目）	中止	開催	7/27、7/28
横樽首頭（南玉）	中止	中止	10/16
麦蒔御神事（下之宮）	開催	開催	12/8
春嶽祭（樋越）	中止（神事のみ実施）	関係者のみ縮小開催	
稲荷神社獅子舞（上新田）	中止	開催	2/11
すみつけ祭（上福島）		関係者のみ縮小開催	

議会の視点
今回の調査は玉村町の郷土芸能に「特化」して行い、担当の生涯学習課から、近年の祭りの行政の支援は欠かせない

祭り継承の危機
玉村町の郷土芸能は少子高齢化の影響で継承者不足が問題となってきた。また、近年ではコロナ禍の影響により、祭りの中止や縮小が余儀なくされ、祭りによっては継承が難しい状態となっている。令和5年度ではコロナ禍明けということもあり、祭りの活気が少しずつ戻ってきているところもあるが、各保存会と町が協力し今後も祭りを継承していく必要がある。このような中、玉村町では地域の祭りを支援するため、郷土芸能保存活動費補助金や指定文化財修理補助金などの補助金制度を整備している。

絶やさず保存し続けるために行政の支援は欠かせない
最後に、時代の変化に対応するため、各地区のふるさとのお祭りは、住民・郷土芸能保存会・町が知恵を出し合い継承して行くべきであるとの総意であった。

の実施状況や補助金の新設・拡充についての説明や、今後の町としての郷土芸能に対する取組及び郷土芸能保存会の取組の説明を受けた。また、令和2～5年度のコロナ禍による中止が各地区で相次ぎ、今後の祭りの継承の危機が一部では出てきており、担い手不足は大きな課題であるとの説明も受けた。
委員からは、郷土芸能としての祭りがコロナ禍での中止を踏まえ、各地区での祭りの継承のためには、住民の少子化や高齢化による担い手不足が課題であるとの意見が多く出され、その解消のため、若手の育成が欠かせないことや、郷土芸能保存活動費補助金の拡充等、その内容等を確認する意見も多く出された。

民生文教
常任委員会

「守りたい・伝えたい・育てたい」
玉村町の郷土芸能

ふるさとのお祭りを見に行こう！

委員長 羽鳥光博

副委員長 堀越真由子

委員 月田均・備前島久仁子・浅見武志

研究テーマ：玉村町の都市計画について



上：高崎玉村スマートIC北地区工業団地開発区域（イメージ）

下：道の駅玉村宿南側に計画されている観光交流拠点となる都市公園（イメージ）



玉村町の都市計画、現況は
現在、町全域が都市計画区域（2578ha）で、市街化区域（373ha）と市街化調整区域（2205ha）に区分されている。都市計画道路としては中央幹線、南北幹線など、都市施設区域に編入・造成した。

設としてクリーンセンター、北部公園、群馬県食肉地方卸売市場などがある。平成3年に区域区分を実施。19年に北部工業団地、21年に東部工業団地を工業専用地域として市街化区域に編入。26年には定住促進を図るため、玉村町文化センター周辺地区を市街化区域に編入・造成した。
さらに27年、東部工業団地西地区を工業専用地域として市街化区域に編入。東地区は既存の工業用地を工業専用地域として市街化区域に編入した。令和2年には高崎玉村スマートIC北地区工業団地を市街化区域に編入し、工業専用地域として造成及び分譲されている。
令和7年度に雨水跡地及び西側農地を近隣商業地域として市街化区域に編入予定。商業施設誘致で令和9年の営業開始を目指し、周辺環境と調和した魅力あふれる商業拠点の形成を図る方向だ。道の駅玉村宿の南側には、魅力的な便益施設を備え観光交流拠点となる都市公園を検討している。

議会の視点
委員から「観光交流拠点公園の構想や隣接する道の駅玉村宿及び近隣の自治体の商業施設との関係性と開発を積極的に進めていくこと」、「空き家対策、町営住宅の在り方」など多岐にわたる意見が出た。町にとってプラスとなる都市計画にしていくこと、町の取組状況は分かるが、もう少し空き家などの状況を把握しながら、効率的に考え、進めていくことができるよう要望する。
取組は一定評価。空き家状況等の把握と効率的計画推進を要望

総務経済
常任委員会

「多岐にわたる計画、さらに効率的に」
町にプラスになる都市計画を！

委員長 小林一幸

副委員長 松本幸喜

委員 笠原則孝・三友美恵子・高橋茂樹・新井賢次